



NCJTA NEWSLETTER

北加日本語教師会

発行/編集 Northern California Japanese Teachers' Association

<http://www.ncjta.org/>

第26号・2007年 3月発行

北加日本語教師会 2007年の春の例会

Sunday, May 6, 2007

San Francisco State University



会長の挨拶

視点を変えると新しいことが見えてくる

南 雅彦

北加日本語教師会会員の皆様は、新年をどのようにお迎えになりましたか。私は例年通り年末・年始を日本で過しました。今回は往復ともビジネスクラスにしたのですが、搭乗した途端、コートを頭上のキャビンに積み込む必要もなくハンガーにかけて丁寧に預かってくれるし、座席に着いた途端オレンジジュースやシャンペンがサーブされるし、機内食はプラスチックの容器に入ったものではなく、テーブルクロスを敷いた上に陶器製の食器で出され、シャンペンやワインはグラスに尽きることなく注いでくれるというように、今まで経験したものと違う待遇を受けて快適でした。日本からサンフランシスコへの便では、食事が遅れたお詫びということでフランスのシャンペン1本までいただきました。

同時に、数年前に同じ航空会社の飛行機に搭乗した際の体験を思い出しました。当時、私は言語発達指標の研究で、通常「科研」と呼んでいる科学研究費補助金（基盤研究）の助成を受けていたのですが、東京都千代田区神田錦町にある学士会館での会合に出席する時のことです。ファーストクラス、ビジネスクラスの搭乗がすんで、エコノミークラスの搭乗の順番が回ってきました。それで私はすぐ搭乗したのですが、機内に入った途端、オレンジジュースを運んでいたフライトアテンダント（客室乗務員）と正面衝突して、上着がオレンジジュースだら

けになってしまいました。私はあっけにとられ、ぼう然と立ちつくしていました。一方、そのフライトアテンダントは睨みつけるように私をじっと見て、無言のままタオルを私の目の前に突き出すように差し出したのです。とにかく、上着はオレンジジュースで黄色く染まったまま成田まで、いや実は学士会館まで行くハメになってしまいました。今回ビジネスクラスに乗ってみて、すぐに飲み物がサーブされ、その苦い体験を思い出したわけですが、あの時、ファーストクラス、ビジネスクラスの客にサーブしようとしていたフライトアテンダントにすれば、エコノミークラスに搭乗しようとした私は、その行く手を阻んでいるだけの単なる目障りな障害物に過ぎなかったのでしょうか。

このような話を書くのは、我々はある特定の方向からのみ事象を観察・判断する傾向にあり、視点を変えれば異なったものが見えてくる可能性があるということを描きたいからです。これは私が高校生の頃の話なので、もうずいぶん以前の話ですが、同級生に和歌山県出身の人が何名かいました。彼等が「ぼく、あるでえ」と言っているのを初めて耳にした時、非常に奇異に感じたことを今でも鮮明に記憶しています。「いる」も「ある」も状態動詞ですが、存在を表す場合の述語としての使用は異なります。生物（有情）の場合は「いる」、無生物（非情）の場合は「ある」と説明できるでしょう。生物・無生物という区別が述語の選択に関係してくるため、「ぼく、ある」が奇異に聞こえ「ぼく、いる」でなければならぬと、その時感じたのでしょうか。

ここから共通語・標準語の正当性・優位性という議論には発展しません。しかし古語では「ある」は人に使用されており、これに従えば「ぼく、ある」という発話はまったく問題ないのです。和歌山県の場合、古語「ある」が紀伊半島に到達した際、その向こうは太平洋でそれ以上進むことができず、そのまま閉じこめられた状態で辺境に残った、つまり古い用法が残存していることを

意味しています。つまり、半島には言葉が閉じこめられやすく、古語は辺境に残ることになります。しかし初級日本語のクラスで「いる・ある」を教える際には、こうした使用を認めていません。これは日本語のクラスでは、規範文法（prescriptive grammar）に従っているからであり、観察の立場に立った記述文法（descriptive grammar）から眺めてみると、これまで眺めていたのとは異なった世界が見えてくるのではないのでしょうか。

「全然（ぜんぜん）」の後ろに肯定が伴う表現も時として批判されます。「全然」の後は本来、一般的に打ち消しや否定的な表現が続きますが、最近では若い人たちの中心に、「全然、大丈夫」など、後ろに肯定的な言葉をつけて使われています。この背景には、「全然ーない」のように、「全然」の後ろに否定や打ち消しを伴うのが正しいと考える傾向があり、実際、日本語学習者を対象とした教科書でも「あまり」や「ぜんぜん」は「ーません」と共に使用すると指導しています。ところが、打消しを伴わない「全然」は古くから使用されており、例えば、明治時代にも「全然」の後ろに肯定が伴う表現が使われていたらしく、「全然+肯定形」は森鷗外や夏目漱石などの明治・大正期の小説にも見られる表現らしいのです。批判されがちな若者言葉や一見新しいと思われる表現の中にも、古語表現が数多く存在し、例えば「何とも悩ましい年の瀬だ」だけを見れば、何か官能的なことがありそうな年末を想像しないのでしょうか。実は、これはプロ野球主力選手の契約更改交渉が、そろって未更改のまま越年となる可能性が高くなり、交渉にあたる球団役編成担当が苦笑いしている様子を描いたものです。

日本語の乱れとしてひとくくりに批判される傾向にある若者言葉の中には、ここ数年のうちに特定の地方で生まれた表現が全国に広まったケースももちろんありますが、上述のように古い表現や方言も存在し、なぜそうした表現が使用されるようになったのか、記述文法から考察することは意味のある作業だと思うのです。もちろん、初級日本語のクラスでは規範文法にとどまるべきである場合は多いでしょう。しかし、仮に「規範的な日本語と異なる」という表現を使用しても、言語変化に関して良い・悪い、つまり「正用・誤用という判断ができない場合が多い」という異なる視点、複数の視点を持つことが大切だと思います。

さて、今春も様々なイベントが目白押しです。まず、3月11日（日）には在サンフランシスコ日本総領事館広報文化センターで、「小学生日本語お話大会」、3月25日（日）には同センターで「日本語授業におけるコンピューター・テクノロジーの活用」をテーマとして勉強会を兼ねた親睦会が開催され、北加日本語教師会メンバーから、中学代表として今瀬先生、高校代表として高松先生、大学代表として増山先生とシアース先生がそれぞれお話しされ、どちらも大盛況でした。また、サンタクララのHyatt Regency HotelでCalifornia Language Teachers Association (CLTA) Conferenceが3月29日

(木)から4月1日（日）まで開催されます。さらに、5月6日(日)にはサンフランシスコ州立大学で北加日本語教師会の春の例会が開催されますが、カリフォルニア州

立大学モンレーベイでも教鞭を取られ、現在はマウンテンビュー高校で教えられている木稲枝美子（このみえみこ）先生が「コンテキストを重視した実践的な教授法について」と題して高校、大学での日本語の教え方についてお話をしますので、皆様、どうかご出席ください。



2006年 秋の例会報告：

2006年秋の例会は、11月11日土曜日 の午後FLANCのセッションとして UC Berkeleyで開催されました。パネル・ディスカッションのテーマは「アニメ、漫画、ファッションを取り入れた教え方」で、塩入クラークよう子先生（California State University, East Bay）が、「アニメ『魔女の宅急便』を教材として」と題して、宮本百合子先生のテクニカル・サポートを得て、発表されました。クラーク先生は、中級のクラスの副教材として楽しく、学生がどんどん勉強したがるような副教材はないかと考えていらした際に、アニメを使用することを思いつかれたそうです。これが発端で、いろいろなアニメをご覧になりましたが、日本語がきれいで、男言葉・女言葉・丁寧表現・普通表現、そしてちょっと乱暴な表現も入っている作品、しかも物語が明るくポジティブで感動的といった要件をすべて満たしている作品ということで、宮崎駿の『魔女の宅急便 (Kiki's Delivery Service)』を選ばれたそうです。この作品の一部を教材にして、毎週金曜日にシナリオの聞き取り・読み・漢字などをクラスで教えられたそうで、ご使用になった教材を昨年秋の例会ではご紹介されました。

内田三養先生（University of California, Davis）は「アニメを通して教える日本語と日本文化」と題して、「日本のアニメやマンガを通じた授業で、どのようにしたら学習者の興味・集中力・学習への積極性を高めることが可能なのか」、また「学習者の感覚に訴えた教材の中でどのように文法や単語等の導入し、復習をするのか」といった視点から、とても興味深いお話をされました。（文責 南）

2007年 春の役員会報告

（書記：増山）

日時：1月28日（日）午後12時から3時

場所：カリフォルニア大学パークレー校

出席者：南 斎藤 クラーク 今瀬 モールス

神原 田代 (SATJ) 田中 増山

議題

1. スピーチコンテスト

サンフランシスコ日本領事館ジャパンインフォメーションセンターより、3月11日に小学生の日本語スピーチコンテスト開催の件についての報告がありました。役員より「たくさんの参加者に賞をあげてほしい」、「成人部のスピーチコンテストについての採点方法を明らかにしてほしい」という意見がありました。

2. 日本語能力試験

4級取得者は3級を目指し、3級取得者は2級を目指すとい

うように、リピーターの増加もあって、受験者数（400名から540名）が飛躍的に増加しました。試験当日のボランティアが必要になってきたので、ご協力をお願いします。

3. メンバーシップと役員改選

会費を15ドルに値上げすることにあげることについて合意しました（学生は据え置き5ドル）。

4. ニュースレターの送料削減策

郵送費削減策として、春の例会でニュースレターをemailで受け取るかどうかについての人数を調べることに合意しました

5. Web page

北加日本語教師会の活性化の一貫として、各教育機関の日本語プログラムのリンクを北加のウェブページに張ることになりました。

6. 役員

春の例会で(1)田中先生の残りの任期を引き継いでいただけるニュースレター編集委員、(2)飯村先生の残りの任期を引き継いでいただける小学校代表委員、(3)クラーク先生の任期満了退任に伴うFLANC連絡委員、の計3役員を募集することに合意しました。田中先生、飯村先生、クラーク先生、これまで長年にわたり北加日本語教師会にご尽力頂き、本当にありがとうございました。



言葉の窓 第八回

Googleと私

増山和恵

さて、明日は「わび、さび」という文化概念について話さなければならない。机上の日本文化論を説いた威厳ありげな専門書が「早くあけなさい」と言わんばかりに座っている。しかし、私の指は既にコンピューターのキーボードをはじいている。実は、ここ数年、私の言葉の「窓」はGoogleである。あっという間に画面全体に「わび、さび」の関連のサイトが飛び出して来る。まず、必ずといっていいほど、Wikipediaが出てくる。誰もがいつでも校正のできるこのサイトを、誰が前に「座った」かわからないので「公衆トイレの便器」と名付け、論文を書く際にはWikipediaは使わないように、と書いてあった大学のシラバスがふと頭に浮ぶ。簡単に読み流しながら、それから、私の「散歩」が始まる。専門家や数々の教育組織のサイトに立ち寄ったり、ブログを読んだりしながら、時間が過ぎていく。

「政治にはまったく無能だった足利義政が、美的センスにおいては天才。足利義政-日本美の発見 By ドナルドキーン」という本の見出しが出て来たり、「思い煩うこと。悲しむこと。寂しがること。」など、古語辞典の意

味を集めたものもある。ある会社の社長の書いたコラムには、「わび」は茶道を大成した千利休が追求した境地で、「不足の美」であり、「飾りやおごりを捨てた、ひっそりとした枯淡な味わい」と書いてある。そして、「現代風にいえば、時流の社会の価値観に囚われることなく（世間的な事物...富・力・名に頼っていないこと）その人の心中に、時代や社会的地位を超えた、最高の価値を追求すること」といった人生観を書き加えている。「さび」は「芭蕉の俳句の理想的境地」で、「『孤独』や『孤絶』を意味し、限りなく変わりゆく無情さの中に、価値を見出すこと。」と書いてある。そして、「利害やわずらわしい人間関係から自由となり、自然と一体となった美を追求」などと付け足してあった。最後に自分が理解した「わび・さび」の定義を一枚のイメージとともに、PowerPointのスライドに入れ、「さて、これで準備はできた。」と自分に言う。

しばらくぶりに日本文化のクラスを教えることになったが、時々関連のない知識のパッチワーク的なエッセイに驚かされる。学生もGoogleしながら、走馬灯のように流れている多量の情報をキャッチし、無意識のまま「コピー（コピーペースト）」をして、なんとなく「リサーチ」した気持ちになっているのだろう。digital nativeと言われる現代の学生にとって指先だけで何の苦勞なく「寸時」に得た情報がどれだけ彼らの知識になっているのだろうか。健康そうに見えても「消化不良」を起こしている学生も少なくないかもしれない。中学高校の時、歴史が大好きだった私は、毎日2、3時間かけて色付きの「私の歴史ノート」を作った。まだ大切な宝物として時々眺めている。Googleでの恩恵を受けながら、こんな事を言うのは何だが、一瞬で消えて、一瞬で手に入る様な情報よりも、古めかしいノートに一字一字書かれた「言葉」のほうが、なぜか自分をより深い世界に誘ってくれるような気持ちになる。実は、私もGoogleからの大量情報で消化不良をおこしている。

しかし、今日もまた私は“Google”している。奈良時代の「奈良」の地名語源は朝鮮語（＝韓国語）の「ナラ（国）」で、古代の渡来人たちが自分たちの国を作るんだという意気込みで、新しい都を「ナラ」と名づけたという説を見つけた。また、大和時代の「大和」は、本来なら「山門」または「山処」である反面、奈良の地形が「なだらか」というところから「なら」と名付けられたという説もあるそうだ。この知識が一瞬で消えないように、また「私の歴史ノート」を作らなければならない。



お知らせ

- 小学生日本語お話大会
 - 日時：3月11日（日）
 - 場所：在サンフランシスコ日本国総領事館 広報文化センター

- 勉強会・親睦会
 - 日時：3月25日（日）
Registration 午前10時30分
午前11時～午後2時40分
（正午～午後1時半：昼食及びネットワーキング
2時20分～2時40分：質疑応答）
 - 場所：在サンフランシスコ日本国総領事館広報文化センター
 - 発表者：
午前11時～正午
中学校の部：今瀬博先生
高校の部：高松信子先生
午後1時半～午後2時20分
短大の部：シアース多都美先生
大学の部：増山和恵先生
 - 演題：「日本語授業におけるコンピューター・テクノロジーの活用」
- California Language Teachers Association (CLTA) Conference
 - 日時：3月29日（木）～4月1日（日）
午前8時～午後6時30分
 - 場所：Hyatt Regency Hotel, Santa Clara

会計よりのお知らせ

長い間、一般会費を10ドルに据え置いてまいりましたが、来年度より15ドルに値上することを役員会で決定いたしました（学生は据え置きで5ドルのままです）。春の例会で、会員の皆様の承認を経て、実施したいと存じます。尚、春の例会（5/6）までにお支払いの場合は従来通り10ドル、春の例会時もしくはそれ以降の場合は新会費15ドルをお支払いいただければと思っております。このニュースレターに年会費納入用紙が入っておりますので、それをお使いください。（会計：斎藤）

北加日本語教師会2007年春の例会のお知らせ

NCJTA Spring 2007 Meeting

新しい方、しばらくお休みの方を是非お誘いの上、いらして下さい。

- 日時：5月6日（日曜） 午後1時から4時
- 場所：場所：San Francisco State University (College of Humanities) HUM 115
- 発表者：木稻枝美子（このみえみこ）先生
- 演題：「高校、大学のクラスでの日本語の教え方（pedagogy）について」

木稻枝美子（このみえみこ）先生のご紹介

日本女子大学で修士号、コーネル大学で言語学の博士号を取得され、バックネル大学、ウィリアムズ大学、メリーランド大学で助教授として教鞭を取られました。オハイオ州立大学、コーネル大学など様々な大学で日本語教師養成プログラムで教えていらっしゃる一方、五年前

から、マウンテンビュー高校で日本語を教えていらっしゃいます。

春の例会では、コンテキストを重視した実践的な教授法についてお話しされます。どうかご期待ください。



先生の紹介欄

田中真奈美先生の紹介

1) お名前を教えてください。

田中真奈美です。

2) 教えている学校名、町を教えてください。

今年の4月から、東京の足立区に出来る新設大学 東京未来大学で教える事になっています。

3) 日本語教師はいつから？

1995年からです。

4) ご趣味は？

趣味はたくさんあります。美味しいものを食べる事と旅行が大好きです。琴は、生田流筑紫会の師範で、茶道は表千家講師です。

5) 日本の出身地は？

名古屋です。

6) アメリカに来てから何年ですか？

1985年に来ました。以来、ずっとサンフランシスコに住んでいます。

7) 仕事について、なにか一言お願いします。

4月から日本で新しい仕事が待っています。不安もたくさんあります。また、住み慣れたサンフランシスコを離れるのも寂しく感じています。いずれまたサンフランシスコに戻ってくる予定でいますので、前向きにこれを良い機会と考えると、一回り成長して戻って来たいと思っています。

8) 会員のみなさんへのメッセージがあればどうぞ。

いままで、ニュースレター編集員としてお世話になりました。しばらく、お目にかかれなくなりますが、またいつかサンフランシスコか東京でお目にかかれることを楽しみにしています。

シアース・多都美先生の紹介

1) お名前を教えてください。

シアース・多都美です。

2) 教えている学校名、町を教えてください。

サウスベイのサンタクララ市にあるミッション・カレッジとクパティノー市のディアンザ・カレッジで教えていますが、その他メリーランド大学のオンラインコースも教えています。

3) 日本語教師はいつから？

日本語を初めて教えたのはTAをした90年でしたが、途中で数年ブランクがあり、98年から再開しました。

4) ご趣味は？

スポーツと絵を描くことです。日本では高校の時からバレーボールに没頭してコーチをしたこともありましたが、

アメリカに来てからも暫くは一週間に一度のバレーボールを楽しむ集いに参加していました。こちらのバレーは男女混合なので驚きました。しかしながら年々、体力も落ちてきて最近では薙刀の練習をしています。薙刀は女性もたしなめる武道ですから運動量も適度です。特に剣道の居合道に似た古流天道流では、私の先生などは六十歳でもまだ若手の部類で、八十歳の師範が最高峰という頼もしい話もあります。絵の方は下手の横好きでもっぱら教材作りに役立っています。

5) 日本の出身地は？

大阪生まれの堺育ちです。

6) アメリカに来てから何年ですか？

もうカレコレ二十年になります。

7) 仕事について、なにか一言お願いします。

“Lower the difficulty of learning while maintaining the quality of teaching.”という理念をクレデンシャルのコースで教わりました。日本語は比較的難しい言語ですから、いつもこれを心がけています。

8) 会員のみなさんへのメッセージがあればどうぞ。

ストレスは忙しい教師生活に付き物ですが、ストレス解消に何かをしていらっしゃいますか。何かでリラックスできる時間を作ってください。薙刀は気合でストレスを発散できて、その上発声の練習にもなるので先生方にお勧めです。ご興味がおありの先生は

<http://www.naginata.org/ncnf/ncnf.html>をご覧ください。

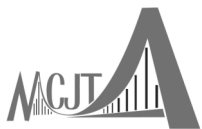
編集後記

春学期も半ばを向かえ、会員の皆様、諸先生方には、お忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。今回のニュースレターも日本語教育に関する話題を充実させました。今後とも、会員の皆様のご意見、ご投稿をスタッフ一同心からお待ち申し上げております。どうかお気軽にご意見、ご質問、ご感想等を南もしくは今瀬までお送りください。

これまでニュースレター編集を担当していただいた田中真奈美先生は今年4月に東京、足立区に開校予定の新設大学、東京未来大学に教員兼キャンパスアドバイザーとして着任されます。これまで本会にご尽力頂き、ありがとうございました。田中先生の今後のご成功、ご多幸をお祈りいたしております。(文責：南)

南：mminami@sfsu.edu

今瀬：hiroimase@yahoo.co.jp



北加日本語教師会連絡先

NCJTA Officers

<事務局>

<http://www.ncjta.org/>

NCJTA. c/o Masahiko Minami

Department of Foreign Languages

サンフランシスコ州立大学

San Francisco State University

1600 Holloway Avenue

San Francisco, CA 94132

(415) 338-7451

<http://online.sfsu.edu/~mminami/>

<役員>

会長： Masahiko Minami 南雅彦 (同上)

副会長： Kazue Masuyama 増山和恵

University of California, Sacramento

E-mail: masuyama@saclink.csus.edu

書記： Haruko Sakakibara 榊原晴子

University of California, Davis, Davis, CA, 95616-8560

Tel: (530) 752-4129 FAX: (530)-752-8630

E-mail: hosakakibara@ucdavis.edu

会計： Mayumi Saito 斎藤真由美

2105 Saratoga Place, Davis, CA 95616

E-mail: msaito@ucdavis.edu

フランク連絡員:

Yoko Clark クラーク芳子

CSU Hayward

Tel: (510) 885-3229

E-mail: yokosclark@yahoo.com

フランク連絡員/ニュースレター編集委員兼任:

Manami Tanaka 田中真奈美

Tel: (415) 387-5193

E-mail: manami@kai-shin.net

<各レベル代表>

小学校：現在空席

中学校：

Hiroshi Imase 今瀬博

Odyssey School

Tel: (650)548-1500

E-mail: hiroimase@yahoo.co.jp

高校代表：

Atsuko Morse モールス厚子

The College Preparatory School

Tel: (510) 652-0111

E-mail: ahmorse@aol.com

学園代表：

Mikiko Shimabe 島邊美紀子

San Jose Betsuin Lang.School

Tel: (408) 227-3371

E-mail: mikishimabe@hotmail.com

コミュニティーカレッジ代表：

Tazumi Searce シアース多都美

469 Tovar Drive, San Jose, CA 95123

Tel: (408) 972-2243

E-mail: tazumi@comcast.net

大学代表：

Wakae Kambara 神原若枝

UC Berkeley

Tel: (510) 642-4755

E-mail: wkambara@berkeley.edu



Northern California Japanese Teachers' Association

会費納入/新会員登録用紙

年会費

一般 \$ 10、学生 \$ 5

Check payable to: NCJTA

Mail to: Mayumi Saito, 2105 Saratoga Place, Davis, CA 95616

Name: _____

Affiliation: _____

School/office Address: _____

Home Address: _____

E-mail: Home: _____ Work: _____

Phone: Home: _____ Work: _____

..... き り と り 線

住所変更/氏名変更等届出用紙

下記のうち該当する変更事項を○で囲み、必要な情報を書き入れてください。変更のない方は、提出の必要はありません。

Mail to: Mayumi Saito, 2105 Saratoga Place, Davis, CA 95616

1. 氏名の変更 旧氏名 (漢字/カタカナ) :

(英語) :

新氏名 (漢字/カタカナ) :

(英語) :

2. 住所変更/勤務先変更 (新しい情報だけご記入ください。)

Name: _____ Affiliation: _____

School/office Address: _____

Home Address: _____

E-mail: Home: _____ Work: _____

Phone: Home: _____ Work: _____